

OECD の
環境保健安全
プログラム

OECD's
Environment
Health and
Programme

OECD の 環境保健安全 プログラム

経済協力開発機構 (OECD)

OECD 加盟国政府には
化学品の生産、
使用および廃棄の安全性を
確実なものとする
責任があります

環境保健安全プログラム(EHS)： 安全性と経済性を結びつけるもの

OECD の環境保健安全(EHS)プログラムは、化学産業およびバイオテクノロジー産業によって生産され、市場で売買される製品で、環境、経済、私達の健康と生活水準、世界貿易、地域産業およびリンゴやオレンジなどの農作物に影響を及ぼすものに関するプログラムです。

塗料、接着剤、殺虫・防虫スプレー、化粧品、家庭用洗剤、ガソリンなど、多くの化学物質が消費者に直接販売されています。また、自動車、コンピュータから合成生地、台所用品、医薬品に至るまで、何十万ものさまざまな商品の生産にも多くの化学物質が使用されています。

化学産業は世界で最も大きな産業の1つであり、世界経済の中核を成すものです。化学産業の生産額は年間1兆5千億米ドルであり、工業製品の世界貿易額の約9%を占めています。

OECD 加盟国は世界の化学製品の約75%を生産しています。したがって、加盟国政府は化学物質を可能な限り安全に生産、使用、および廃棄することを確保する重大な責任があります。

1970年代の終り頃から、OECD 加盟国政府は有害性試験およびリスク評価のシステムに基づいて化学品を規制してきました。このシステムでは、個々の化学品が人の健康や環境にどのような影響をあたえるおそれがあるか判定するための一連の試験を化学物質製造業者に対して要求しています。政府は、その試験結果と暴露の可能性を評価し、個々の化学物質をどのように管理すべきか判断します。このシステムの良い点は非常に厳密で包括的であるということです。しかしながら、政府と業界双方にとって時間がかかり、大きな出費が伴う場合があります。

EHS プログラムは、OECD 加盟国が負担を分かち合い、技術や知識を結集することによって、より良い仕事を迅速に行えるよう創設されました。EHS プログラムは次の3つの目的のために運営されています。

- 実験動物愛護の精神を考慮に入れた上での高品質な化学物質の試験および評価方法の確立
- 化学物質管理の効率性、有効性の向上
- 化学物質および化学製品の取引における非関税障壁の最小化

このような目的に向かって、EHS プログラムは環境問題の中で現在最も重要なテーマである化学物質の人や野生動物への内分泌攪乱を起こす可能性、農薬の使用に伴うリスク、現代のバイオテクノロジーを用いた製品の安全性などに取り組んでいます。

EHS プログラムは、効率的な方法で質の高い化学物質管理を行えることを示してきました。当プログラムにより余分な試験をなくし仕事を分担し合うことで、OECD 加盟国政府および化学業界は年間で少なくとも5千万米ドルを節約できると推定されています。

CONTENTS

目次

OECD の概要	7
<hr/>	
環境保健安全 (EHS) プログラムの歴史	9
<hr/>	
化学品プログラム	12
<hr/>	
国際的調和と役割分担	12
<ul style="list-style-type: none"> ・ テストガイドライン ・ 優良試験所基準 (GLP) ・ 非加盟国の参加 ・ 新規化学品 ・ 既存化学品 ・ 有害性の分類と表示 	<ul style="list-style-type: none"> 14 15 17 17 18 19
<hr/>	
意志決定のためのツール	21
<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク評価 ・ リスク管理 	<ul style="list-style-type: none"> 22 23
<hr/>	
関連プログラム	25
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬 ・ 化学品事故 ・ PRTR ・ バイオテクノロジーの安全性 	<ul style="list-style-type: none"> 26 28 30 32
<hr/>	
理事会決定・勧告および刊行物	34
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保健安全に関する OECD 理事会決定・勧告 ・ EHS 刊行物リスト (抜粋) 	<ul style="list-style-type: none"> 34 37

OECDは
共通する問題について、
各国がともに分析し、
取り組めるようにするための
活動を行っています